

鐵道國有法案外一特別委員會會議事速記録第六號

明治三十九年三月二十六日(月曜日)午後一時十六分開會

○委員長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ開會イタシマス、小委員ノ報告ガゴザイマスカラ
左様御承知ヲ願ヒマス

(左ノ修正案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

〔小字ハ修正
ハ削除ノ符號〕

鐵道國有法

第一條 一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ國ノ所有トス但シ一地方ノ交通
ヲ目的トスル鐵道ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 政府ハ明治三十九年ヨリ明治四十四年迄ノ間ニ於テ○左ニ掲クル私
○本法ノ規定ニ依リ

設鐵道株式會社所屬ノ鐵道ヲ買收スヘシ

- 一 北海道炭礦鐵道株式會社
- 一 北海道鐵道株式會社
- 一 日本鐵道株式會社
- 一 岩越鐵道株式會社
- 一 北越鐵道株式會社
- 一 甲武鐵道株式會社
- 一 川越鐵道株式會社
- 一 總武鐵道株式會社
- 一 成田鐵道株式會社
- 一 東武鐵道株式會社
- 一 上武鐵道株式會社
- 一 房總鐵道株式會社
- 一 豆相鐵道株式會社
- 一 水戸鐵道株式會社
- 一 七尾鐵道株式會社
- 一 中越鐵道株式會社
- 一 豐川鐵道株式會社
- 一 關西鐵道株式會社
- 一 尾西鐵道株式會社
- 一 近江鐵道株式會社
- 一 參宮鐵道株式會社
- 一 京都鐵道株式會社
- 一 南海鐵道株式會社

- 一 西成鐵道株式會社
- 一 高野鐵道株式會社
- 一 河南鐵道株式會社
- 一 阪鶴鐵道株式會社
- 一 山陽鐵道株式會社
- 一 中國鐵道株式會社
- 一 德島鐵道株式會社
- 一 九州鐵道株式會社
- 一 博多灣鐵道株式會社

前項ニ掲ケ○タル各會社ハ他ノ私設鐵道株式會社ト合併シ又ハ他ノ私設鐵道株式會社ノ鐵道
ヲ買收スルコトヲ得ス
ヲ開始セサルモノモ亦前條ノ規定ニ準シテ之ヲ買收スルコトヲ得

第三條 前條ニ掲ケタル各鐵道買收ノ期日ハ政府ニ於テ之ヲ指定ス

第四條 政府ハ兼業ニ屬スルモノヲ除クノ外買收ノ日ニ於テ會社ノ現ニ有
スル權利義務ヲ承繼ス

但シ會社ノ株主ニ對スル權利義務、拂込株金ノ支出殘額並收益勘定、積立
金勘定及雜勘定ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條 買收價額ハ左ニ掲クルモノトス

一 會社ノ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ六營業年度間
ニ於ケル建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル建設費
ニ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額

二 貯藏物品ノ實費ヲ時價ニ依リ公債券面金額ニ換算シタル金額但シ借
入金ヲ以テ購入シタルモノヲ除ク

前項第一號ニ於テ益金ト稱スルハ營業收入ヨリ營業費、賞與金及收益勘
定以外ノ諸勘定ヨリ生シタル利息ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割
合ト稱スルハ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ每營業年度
ニ於ケル建設費合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ
二倍ヲ謂フ

第六條 借入金ハ建設費ニ使用シタルモノニ限り時價ニ依リ公債券面金額
ニ換算シ買收價額ヨリ之ヲ控除ス

會社カ鐵道及附屬物件ノ補修ヲ爲サス又ハ鐵道建設規程ニ依リ期限内ニ
改築若ハ改造ヲ爲ササル場合ニ於テハ其ノ補修、改築又ハ改造ニ要スル
金額ハ前項ノ例ニ依リ買收價額ヨリ之ヲ控除ス

第七條 資本勘定ニ屬スル支出ハ借入金ヲ以テシタルモノヲ除クノ外順次

ニ建設費及貯藏物品ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做ス
借入金ノ支出ハ前項ノ支出ノ後ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八條 會社カ明治三十八年前半期ノ營業年度末ニ於テ運輸開始後六營業年度ヲ經過シタル線路ヲ有セサル場合又ハ第五條第一項第一號ノ金額カ建設費ニ達セサル場合ニ於テハ政府ハ其ノ建設費以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ第五條第一項第一號ノ金額ニ代フ
第二條第二項ノ規定ニ依リ買収ヲ爲ストキハ其ノ價額ハ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス

第九條 左ニ掲クル場合ニ於テハ政府ハ審査委員ヲシテ決定ヲ爲サシムヘシ
一 權利義務ノ承繼ニ關シ又ハ計算ニ關シ會社ニ於テ異議アルトキ
二 前條ノ場合ニ於テ協定調ハサルトキ

○對シ不服アルトキハ會社ハ主務大臣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得
○ハ終局トス
審査委員ノ決定ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 買収ノ執行ハ審査委員ノ審査中ト雖之ヲ停止セス

第十一條 會社カ買収ニ因リテ解散シタルトキハ主務大臣ハ解散ノ登記ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第十二條 買収代價ハ買収ノ日ヨリ二箇年以內ニ於テ券面金額ニ依リ五分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付ス但シ五十圓未満ノ端數ハ之ヲ五十圓トス

會社殘餘財産ノ分配ハ前項公債證書ヲ以テス
買収後公債證書ノ交付ヲ終ル迄ニ要スル清算人ノ職務ニ關スル會社ノ費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ支辨ス

第十三條 政府ハ買収ノ日ヨリ公債證書交付ノ日ニ至ル迄買収價額ニ對シ一箇年百分ノ五ノ割合ニ相當スル金額ヲ從前ノ決算期毎ニ會社ニ交付スヘシ
前項ニ依リ交付シタル金額ハ清算中ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

第十四條 政府ハ鐵道買収ノ執行ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行ス

第十五條 政府ハ前條ニ依リ發行シタル公債及第四條ニ依リ承繼シタル債務ノ整理ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ利率、募集ノ方法、規約、据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 前二條ノ公債ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外整理公債條例ヲ適用ス

第十七條 第五條第一項第二號及第六條ニ規定シタル公債時價ハ買収期日前六箇月間ニ於ケル帝國五分利公債ノ平均相場ニ依ル

前項平均相場ハ日本銀行ノ證明ニ依リ政府之ヲ定ム

第十八條 買収ヲ受クヘキ會社カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買収スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ買収價額ハ協定ニ依ル

第九條乃至第十六條ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス
附則

○本法發布
第二條ニ掲クル會社ノ明治三十九年二月一日以後ニ於ケル貯藏物品ノ購入、建設費ニ増加ヲ生スヘキ施設及債務ノ負擔ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

○其ノ
前項ノ認可ヲ受ケサルモノニ付テハ政府之ヲ承繼セス但シ政府ハ價額ヲ査定シ○テ之ヲ承繼スルコトヲ得

○又ハ相當ノ補償ヲ徴シテ
○伯爵正親町實正君 昨日御委託ニナリマシタ小委員ニ於キマシテ修正ヲ致シマシタコトニ付キマシテ御報告ヲ致シマス、昨日委員會ニ於キマシテ本員ヨリ大體ノ修正意見ヲ申上ゲテ置キマシタガ、其他ニモ尙ホ一二ノ修正モ出マシテゴザイマス、結局諸君ノ御手許ニ差上ゲテゴザイマス、通りノ修正ニナリマシタゴザイマス、ソレデ第二條ハ「明治三十九年ヨリ明治四十八年迄ノ間ニ於テ本法ノ規定ニ依リ左ニ掲クル私設鐵道」云云ト云フコトニナリマシタ、之ヲ十箇年延バシマシタト云フモノハ矢張り昨日チヨット申シマシタ如ク、兎ニ角今日ハ經濟界上ニ甚ダ適當ノ時機トモ考ヘヌニ付テハ成ルベク此鐵道公債ヲ發行サレニ付テモ、寛カニシテ成ルベク經濟界ニ及ボス所ノ障礙ヲ少クシタイト云フ精神カラ十年ニ延バシタ譯デアリマス、ソレカラ「本法ノ規定ニ依リ」ト云フコトガ這入リマシタガ、是ハ此年限ノ延ビマシタ結果、此十年ニ延バマスル此間ニ私設鐵道ニ於テ二十五年ノ年限ガ來マシタ時ニ買上ゲラル、所ノ鐵道ガゴザイマス、サウシマス、其場合ニ於テハ此法律買上ゲ得ラルカ、又ハ私設鐵道法ニ依ッテ買上ゲルモノデアアルカト云フ感ヒガ生ジマスニ依ッテ、本法ニ於テ記載サレル所ノ各鐵道會社ハ總テ本法ニ依ッテ買上ゲルト云フコトニ決メマシタデアリマス、ソレカラ此三十二會社ノ中、十七會社ヲ取リマシテ、アトハ昨日申上ゲタヤウナコトデアリマシテ削除イタシマシタ、此削除イタシマシタ小鐵道ノ如キモノハ一般ノ運輸交通ノ上カラ國ガ統一スル、統一スルニ付テモ別段斯ウ云フ小サイ鐵道ニ於テハ統一上ニ餘リ關係ノ無イ積リデアリマス、加之、却ッテ斯ウ云フ小鐵道ヲ買収シタ上ニ於テハ將來鐵道經濟ノ上ニ於テモ甚ダ不利益ナ譯デアアルカラ、是ハ省イタ方ガ宜カラウト云フ意味デハ削除イタシマシタ、ソレカラ此結果、此記載ノ外ノ鐵道ハ買ハヌト云フコトニナリマス以上ハ、第二條ノ末項ハ最早不用ニ屬シマス、是ハ削除イタシマス、其代リニ他ノ一項ヲ加ヘマシタ、ソレハ斯ウナリマス、將來鐵道會社カ他ノ鐵道會社ト合併スルノ虞ガアラウト考ヘマス、ソレハ詰リ此買収ニ係ル所ノ鐵道會社相互間ニ於テモ合併スルカモ知ラヌ、又ハ或ハ他ノ記載以外ノ鐵道ト此記載シタ所ノ鐵道トガ合併スルカモ知ラヌ、ソレハナゼナレバ大キナ鐵道ト小サナ鐵道トガ合併サレマス、トキニ於テハ大變小鐵道ノ爲ニハ利益デアリマス、ソレガ爲ニサウ云フコトモ起ラヌトモ限ラム、サウスルト國家ハ非常ニソレガ爲ニ不利益ヲ被ラナレバナラヌカラ、

是ハ豫テ豫防シタ方ガ宜シカラウト云フ意味デ是ガ這入リマシタ、ソレカラ第八條ノ末項ヲ削除シマシタ、是モ矢張り第二條ノ一項ヲ削リマシタ當然ノ結果トシテ削ラレマシタ、ソレカラ第九條ニ「審査委員ノ決定ハ終局トス」ト云フ代リニ「審査委員ノ決定ニ對シ不服アルトキハ會社ハ主務大臣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得」是モ昨日チヨット申述ベマシタ意味ニ基キマシテ、審査委員ノ決定ヲ終局トスト云フノモ餘リ穩當デナイカラ、若シ此決定ニ對シテ不服アルトキハ訴願ヲ許シタ宜カラウト云フ、斯ウ云フ精神ニ外ナラヌ、ソレカラ第十二條「買收代價ハ買收ノ日ヨリ一箇年以内」ト云フ「二箇年」ヲ「五箇年」ニ變ヘマシタガ、是モ公債ヲ渡スニ付テモ成ルベク緩カニ渡シタ方ガ經濟界ノ上ニ宜カラウト云フ意味デ五箇年ト云フコトニシマシタ、斯ウシマスト二箇年ナレバ宜シイガ、自然買收ノ日カラ五箇年モ先キニ公債ヲ渡スト云フコトニナリマスト、此間ニ於テ會社ハ清算費用ガ大分要ルコトニナル、ソレデ本案ニ依リマシレバ無論其清算費用ト云フモノハ會社ノ負擔スベキモノデアリマシケレドモ、ソレデハ會社トシテ餘リ迷惑ノ譯デアルカラ、ソレデ此清算費用ハ政府ガ支辨シタ方ガ宜カラウ、故ニ其結果ト致シマシテ此末項ヲ加ヘマシタ、即チ「買收後公債證書ノ交付ヲ終ル迄ニ要スル清算人ノ職務ニ關スル會社ノ費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ支辨ス」此金高ハ確ナコトハ分リマセヌガ、先ヅ十七八萬圓モアレバ十分デアラウト云フコトデゴザイヌ、ソレカラ附則ノ「第二條ニ掲クル會社ノ明治三十九年二月一日以後ニ云々」是ハドウモ法律發布以前ニ遡ッテ檢束スル、ソレデ主務大臣ノ認可ヲ受クルト云フコトハ如何ニモ是ハ不都合ノコトデアルカラシテ「本法發布以後」ト云フコトニシタ方ガ穩當デアル、成ルホド事實ニ於テハ或ハ此規定ガ必要カモ知レマセヌガ、併ナガラドウモ理窟上甚ダ穩當デナイト云フ所カラ「本法發布後」ト云フコトニ變ヘマシタ、ソレカラ「建設費ニ増加ヲ生スヘキ施設」ト云フコトニ本案ニハナッテ居リマシタガ、是ハ増スバカリデハイカヌデ、矢張り増減ト云フコトニシタ方ガ宜シカラウ、ソレデ「建設費ノ増減及負債ノ負擔ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ」ト云フコトニナリマシタ、ソレカラ其一番末項ニ「但シ政府ハ價額ヲ査定シ」云々トナリマシタ、價額トアルト此債務ノ他ノ建設費ノ増減等ニ付テハ價額ト云フ方ガ宜カラウ、債務ノ負擔ノ價額ト云フノガ、ドウモ少シシカシイデアラカラ、ソレデ「其ノ額ヲ査定シ」ト云フコトニ改メタ方ガ宜カラウ、ソコデ此初ハ増加ダケデアリマシタケレドモ、今度ハ増減ト云フコトニナリマシタ以上ハ、其場合ニハ又ハ相當ノ補償ヲ徵收スルガ宜カラウ、是ハ或ル場合ニ、若シ其家屋其他ノヤウナモノヲ賣却シタ場合ニ、價值ヲ其價額ニ於テ僞ルヤウナコトガアツタ時分ニ、不都合デアルカラ、此補償ヲ徵シタ方ガ宜シカラウ、斯ウ云フ意味デアツタト思ヒマス、先ヅ大體ノ趣意ハ今申上ゲタ通りノコトデアリマス、尙ホ御疑ノ所ハ御質問ニ依ッテ御答イタシマス、ソレカラマダ申落シマシタ、其他ニ第八條ノ一項ノ「政府ハ其ノ建設費以内ニ於テ協定シタル金額ヲ云々ト云フコトガゴザイマス、是ハ此「建設費以内」ト云フコトヲ「建設費ヲ標準トシテ協定シタル金額」ト改メタ宜カラウト云フ修正説ガ出マシタ、ソレハドウ云フ譯カタ云ヘバ、マダ營業年間ニ達シナイ鐵道トカ、若ハ第五條ノ第一項ノ益金ノ無イト云フコトニナッテ、マダ利益ノ無イ鐵道デアルト云フト、建設費以内ニ於テ買上ゲラレル、サウスルト云フト如何ニモ會社ニ取ッテハ甚ダ不利益デ、若シ看スノ、非常ナ損害ヲ受ケナケレバナラヌコトデアル、サウスルト云フ弱イ

會社ニナレバ政府モ成ルベク其會社ニ向ッテ大ニ値切ツタリシテ大變廉イコトニ買上ゲルト云フコトニナッテハ會社ニ取ッテ大變不利益デアル、ソレデ建設費ヲ標準トスルコトニナルト、大抵サウスルト價額ノ下ルコトモアルマイ、殊ニ其上公債ハ額面ヲ渡サレルデアアルカラ差引キ大變ニ損ノ行クコトデアル、ソレデ先ヅ此標準ト云フ意味ハドウカ、此建設費ノ實額クラ井マデニ至ルヤウナコトニシテヤリタイ、斯ウ云フ意味デアリマス、之ニ對シテハ如何ニモ一應ハ尤モデアリマシタガ、併ナガラサウスルト云フコトニナルト、例ヘバ目下非常ニ廉イ會社ガアル、五十圓ノ拂込ニ對シテ或ハ六圓トカ七圓ト云フ相場ノ會社ニシテ見レバ、若シ是デ買ヘバ時價相當ナコト協定モ出來ルコトデアル、建設費ヲ標準トスルト看スノ、六七圓ノ時價ヲ有ッテ居ル會社ノ株ヲ五十圓デ買上ゲルト云フコトニナレバ、餘リ國家ハ看スノ、非常ナ不利益ヲ被ルコトデアラカラ、ソレハドウモ穩當デアルマイト云フ論デアリマシテ、贊成者モゴザイマス、是ハ成立イタシマセナンダ、ソレカラ、其他ニ今一ツ修正ガ出マシタ、ソレハ第六條ノ次ニ一條ヲ加ヘテ、其意味ハ今度ノ政府ノ鐵道ノ買上ト云フモノハ強制買上デアルト雖モ如何ニモ無理ナ話デアル、約束年限ガアルニモ拘ラズ其年限以内ニ買上ゲルト云フコトハ如何ニモ權利ヲ障礙シタ話デアルカラ、詰リ其權利ノ補償額ヲ、相當ノ額ヲ政府ガ拂ッタ方ガ至當デアルデハナイカ、斯ウ云フ意味デアリマス、ソレデ修正案ノ大體ハ「本法ニ依リ私設鐵道ヲ買收スルニハ政府ハ鐵道特許條約又ハ私設鐵道法第七十二條ニ掲ケタル買上年限ニ達スル迄ノ間ニ於ケル營業上ノ損失ヲ會社ニ補償スヘシ」「前項ノ補償額ハ之ヲ協定スヘシ」斯ウ云フ一條ヲ加ヘタイト云フ修正ガ出マシタ、是モ種々評議モアリマシタガ、併ナガラ大體此今度ノ法案ハ特殊ノ法案デアツテ、買上價額ト云フモノハ矢張り自ラ其意味ヲ含ンデ隨分餘ホド割ノ好イ買上價額ニナッテ居リマス、若シ此權利補償ト云フコトヲ入レルト云フコトニナルト大體此案ノ組織ヲ變ヘテ仕舞ハナケレバナラヌ、デ矢張り現在ノ方ガ宜カラウ、ノミナラズ金額モ大分ノ金額デアラカラ入レナイ方ガ宜カラウト云フ、多數ノ論デアリマシテ、是モ消滅イタシマシタ、ソレト之ニ牽聯シテ、事柄ハ違ヒマシケレドモ、第十二條ニ「買收代價ハ買收ノ日ヨリ五箇年以内ニ於テ券面金額」ト云フコトガアリマス、此「券面金額」ヲ改メテ時價ニ依リ券面金額ニ換算シ五分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付ス」斯ウ云フ修正説デアリマス、是ハ一方ノ會社ノ負債ハ政府ガ承繼シテ其負債ニ對シテ時價ヲ以テアルニ拘ラズ買收ノ代價ハ券面金額ヲ渡スト云フコトハ甚ダ不利益ノ話、權衡ヲ失スルコトデアラカラ、是モ矢張り時價相當ノ公債ヲ渡シタ方ガ穩當デアラウ、斯ウ云フ、タシカ意味ノヤウデゴザイマス、是モ隨分斯ウナルコトニナルト、又此上時價ト云フコトニ變ヘルト、非常ナ金額ニナル、詰リ此券面金額ヲ渡スト云フコトハ株主ノ利益ヲ標準トシテ今日マデ株主ガ其會社カラ受ケ得タル所ノ利益ヲ標準トシテ出タ所ノ券面金額デアラカラ、株主ノ方デモ別段之ガ爲ニ不利益ノコトハ無イ、矢張り券面金額ノ方ガ宜カラウト云フ意味デ、是モ成立イタシマセヌ、先ヅソレデケデゴザイマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 唯今御聽キノ通りノ次第デアリマシテ、種々修正説モアルト認メマスカラシテ、先ヅ逐條ニ依ッテ議シテ參リタイト思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 唯今ノ正親町伯爵ノ昨日御提出ニナッテ、今御讀上ゲニナッテ修正案ト云フモノガ、詰リ問題ニナッテ居リマスカ、無論サウスルト心得マスガ、ソレレ

伺上テ私ハ意見ヲ述ベタイコトガゴザイマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 詰リ今ノ報告ニ付テ、何カ報告ノ全體ニ付テ御質問ニナルカ、或ハ意見ヲ御述ベニナル御考ヘガアレバ、此際ニ御述ベニナッテ宜シウゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 然ラバ私ノ意見ヲ述ベマス、私ハ昨日ノ討議ニ於テモ述ベマシタ通り、抑、此鐵道國有ト云フコトニハ根本カラ絕對反對スルノデアリマスカラ、修正ナドト云フコトハモウ見ナイノデアリマス、修正スルマデモナイ、此案ハ直ニ否決スベシト云フ私ハ考デアリマスカラ、遺憾ナガラ修正ニハ御同意ガ出來マセヌノデアリマス、併ナガラ此委員會ハ多數デ修正ガ通過セテモ、未ダ本議場ハ如何ニナルカ分ラヌノデアリマスカラ、若シモ本議場ニ於キマシテ私ノ希望通り是ガ否決ト云フコトデナクシテ、二讀會ニ移ルト云フ場合ニナリマシタナラバ、ソレハ原案ニ比較シテ見レバ、唯今ノ正親町伯カラ述ベラレタ修正案ハ、所謂ヨリ良キト云フコトニナリマスカラ、其場合ニハ修正ニ御同意イタスカモ知レマセヌケレドモ、此委員會ニ於キマシテハ、昨日申シタ通り、絕對的の反對デアリマスカラ、贊成ハ出來マセヌノデアリマス、此段ヲチヨット御斷リ申上ゲテ置キマス

○子爵谷干城君 チヨット御尋ネラシテ置キタイト思ヒマスガ、十年ニ此買収ヲ御延ベニナルニ付テハ、其間此私設會社ト云フモノハ頗ル其事業ヲ怠ッテ危險ナヤウナコトニナルト云フ虞ハアリマセヌカ、ソレハ私設鐵道條例ノ文ニ依ッテ嚴重ニ監督シテ十年延ビタニシテモ等閑ニセヌト云フ、キツシタ方法ガアリマセウカ、延ブルニ從ッテ……最早買上ゲルコト、決マルト頗ル儉約主義ニナッテカラシメタルデ、政府ガ買上ゲル時分ニハ、ボロノボロニナルヤウナ虞ハアルマイカト思ヒマスガ、チヨットソコヲ御評議ガアツタラ伺ヒタイ

○伯爵正親町實正君 ソレハ是マデ監督ノ方法モゴザイマセウガ、今日此國有ト云フコトニナル以上ハ、政府ニ於テモ十分ニ其所ハ監督サレルト思ヒマスカラ、其監督ハ政府ニ任カシテ置ク、併ナガラ若シ其監督ガドウシテモ不行届アルトカ、此鐵道會社ガ段々惡ルクナッタト云フヤウナコトナラバ、ソレハ此經濟界ノ情況ニ於テ比較シテ、已ムヲ得ヌトキニハ即チ其政府ハ其以前ニ於テ買上ゲラレテモ差支ナイノデスカラ、モウソレハ政府ノ監督ヲ嚴重ニシテ保護スルヨリ途ハ無カラウト考ヘマス

○男爵松平正直君 本員ハ唯今正親町伯爵ノ御報告ニナリマシタ修正案ト大體同意見デアリマスガ、唯今委員長ノ逐條ノ審議ヲナサルト云フコトデアリマシタガ、其贊否ハ……修正ヲ贊否ハ逐條毎ニ御決シナル、斯ウ云フ御都合デゴザイマセウカ、チヨット心得ノ爲ニ伺ッテ置キマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 其通りデゴザイマス

○伯爵德川達孝君 私ハ唯今伊達男爵ノ述ベラレタ如ク、本案ニハ絕對ノ反對デ假令修正ガアラウトモ反對デアリマス、若シ本會議ニ於テ不幸ニシテ一讀會ニ移ッタ場合ニハ已ムヲ得ズ修正ニ同意イタシマスカ知レマセヌケレドモ、此委員會ニ於テハ修正ハ勿論本案ニ反對シマスカラ、チヨット一言申シテ置キマス

○委員長(侯爵黑田長成君) ドウデゴザイマセウカ、是ヨリ逐條審議ニ移リタイト思ヒマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 先ヅ第一條ヲ問題ニ致シマス、御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(侯爵黑田長成君) 第一條ハ原案ニ決シマス第二條

○男爵松平正直君 是ハ修正案ニ贊成イタシマス

○子爵曾我祐準君 第一條ニ於テ「交通ノ目的トスル鐵道ハ此ノ限ニ在ラス」ト云フ文ガアリマシテ、過日來政府ノ答辯サレル如ク無理ナ讀ミ方ヲセズニ普通日本ノ文字ヲ讀ム如ク今度ハ讀メルヤウニナッテデアリマス、然ルニ過日一地方ノ鐵道トハ如何ナルモノデアアルカト云フ御尋ラシタラ、十鐵道ト云ハレマシタ、此案デハ十鐵道ヨリ多クナッテ居リマスガ、政府ハ之ヲ皆悉ク地方ノ鐵道ト御覽ナサラネバ又文章ガ變ナコトニナリマスガ、無論サウ御解釋ナサルトコトガ出來ルモノデアラウト思フ……

○國務大臣(山縣伊三郎君) 唯今ノ御質問ニ御答シマスルガ、是ハ政府ハ過日、第一條ノ解釋ニ就キマシテハ過日申上ゲマシタ通りノ意味ヲ以テ、今日デモ解釋シテ居ルノデアリマスル、此一地方ト云フノハ、詰リ一般輸送ノ用ニ供スルモノデモ一地方ニアッデモソレヲ其買上ゲルノ必要アルト認メルモノハ無論買収スルト云フ意味デアリマスルカラ、ソコデ此三十二會社ハ地方ニ限ルモノト否トヲ問ハズ舉ゲタノデアリマスカラ、必ズ是ガ此所デ削除ニナリマシタ所ガ、ソレヲ地方ノモノト政府モ認メル、斯ウ云フコトハアリマセヌ

○子爵曾我祐準君 ドウモ本員ガ申シマシタコトハ不幸ニシテ遞信大臣ニ御合點ガ行カナイ、曖昧デスガ、例ヘバ一例ヲ舉ゲマスト過日、川越鐵道會社ガ地方ノ鐵道デハナイヤウニ御覽ニナッテ居ッタカト思ヒマス、……川越鐵道ト云フモノハ政府ハ一地方ノ鐵道デナイト御覽ニナッテ居リマシタガ、此修正案デハ一地方ノ鐵道ト見タト云ハナイト文章ヲ爲サヌ、此ノ限ニ在ラスト云フハ勿除ケタ方デスカラ、ソレヲ御尋スルノデアリマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 唯今ノ御尋ハ修正セラレタ御方ノ方デ御答ニナルベキコトデハゴザイマセヌカ

○子爵曾我祐準君 左様デナイデス、修正シタモノハ無論、是ハ一地方ノ鐵道ト認メテ居リマス、サウデナケレバ斯ウ云フ文章ハ書ケマセヌ、修正者ハ必ズ……私ハ斷言シマス、一地方ノ鐵道ト見タノデス、ソレ故ニ斯ウ云フ修正ガ出來タ、然ラバ過日政府ガ十鐵道ヲ地方鐵道ト御覽ニナッタガ、此修正者ハ十五鐵道ヲ地方鐵道ト見タノデスガ、ソレハ御同意ナサルトコトデゴザイマセウナ、斯ウ云フデアリマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 其意味ナラ同意イタシマセヌノデス

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ採決ヲ致シマス、小委員ノ報告通りデ宜シイト云フ諸君ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

○子爵曾我祐準君 多數

○委員長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス、次ニ第三條、第四條、第五條、第六條、第七條ヲ問題ニ供シマス

○子爵谷干城君 チヨット質問ラシテ置キタイコトヲ、チヨイト忘レテ居リマシタカラ……

○委員長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 政府ハ鐵道ヲ買収スルニアラズシテ鐵道ノ「レール」ヲ御買収ニナルヤウニ考ヘラレルノデスガ、ソコハ如何デセウ、確メテ置キタイ

○子爵曾我祐準君 多數

○委員長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス、次ニ第三條、第四條、第五條、第六條、第七條ヲ問題ニ供シマス

○子爵谷干城君 チヨット質問ラシテ置キタイコトヲ、チヨイト忘レテ居リマシタカラ……

○委員長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 政府ハ鐵道ヲ買収スルニアラズシテ鐵道ノ「レール」ヲ御買収ニナルヤウニ考ヘラレルノデスガ、ソコハ如何デセウ、確メテ置キタイ

○子爵曾我祐準君 多數

○委員長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス、次ニ第三條、第四條、第五條、第六條、第七條ヲ問題ニ供シマス

○子爵谷干城君 チヨット質問ラシテ置キタイコトヲ、チヨイト忘レテ居リマシタカラ……

○委員長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 政府ハ鐵道ヲ買収スルニアラズシテ鐵道ノ「レール」ヲ御買収ニナルヤウニ考ヘラレルノデスガ、ソコハ如何デセウ、確メテ置キタイ

○委員長（侯爵黒田長成君） 多數、第十條、第十一條ヲ問題ニ供シマス

○實業工作部 三月六日 本館接日本海軍省

○委員長(侯爵黑田長成君) 次ニ京釜鐵道買收法案ヲ議シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○子爵曾我祐準君 是ハ大シテ御議論ハアルマイトハ思ヒマスガ、少ナクトモ政府ノ説明クラ并テ聽キマセヌト、問題ニナルカナラヌカニ、異議ナシナドト云フコトハ餘リ輕卒ナコトト思ヒマス、ドウカハ諸君御面倒デスガ政府ノ説明ヲ伺ヒタウゴザイマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

議院ハ冗談ト違ヒマスカラ、ドウカ御注意ヲ願ヒマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 京釜鐵道買收法案ハ韓國ニ於ケル鐵道ノ管理ヲ統一スル上カラ必要ヲ認メテ此度提出シタ次第デアリマス、御承知ノ通り唯今ノ所ハ官設ノ京義アリ、私設ノ京釜鐵道、斯ウ云フヤウナ工合ニナツテ居テ、對韓ノ經營上、將來縱貫トモナルベキ線ガ斯様ニ區々ニナツテ居リマシテハ甚ダ不便ヲ感ズル次第デアリマス、此際之ヲ買收シテ統監ノ下ニ之ヲ管理セシムルヤウニシタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、尙御尋モアリマスレバ其御尋ニ應ジテ御答ヲ申上ゲマス

○子爵曾我祐準君 唯今ノ御説明ニ依リマスレバ、單ニ統一ノミガ目的ノヤウデアリマスガ、タツタニツシカ無イカラ……成ルホド二ツノモノヲ二ツニ置クハ一ツニスルヨリ統一ヲ缺イテ居ルニ相違アリマセヌケレドモ、唯統一シタイト云フバカリデアリマスガ、モウ少シ何ゾ意味ハアリマセヌカ、唯一ツノモノヲ一ツニスルダケデアリマスガ、ソレハ何カ物足ラヌヤウナ心持ガシマス、又之ニ對スル金高ハ表カ何カ出テ居ツカ知リマセヌカ、チヨット幾ラバカリニナリマスガ、又其他此鐵道ヲ經營シマスニハ買收ノ金ダケ宜シウゴザイマスガ、是モ新シイ鐵道ノコトデアリマスカラ、車輛其他ノ増加、若クハ停車場ノ設備等ニ必ズ金ガ要ラウト思ヒマスガ、參考書トシテ御覽ヒシテ居ルカ知レマセヌカ、チヨット大要ヲ承リタウゴザイマス

○國務大臣(寺內正毅君) 唯今ノ曾我子爵ノ御尋ニ對シマシテ、遞信大臣ガ答ヘマシタ、尙之ニ付テ御反問モゴザイマスノデ、大體遞信大臣ヨリ申シマシタ所ヲ補足ヲ致シテ置キマス、御承知ノ如ク韓國ノ經營ト云フコトニ付キマシテハ、先ヅ此鐵道ヲ聯結シマシテ之ヲ統一シテ韓國ノ經營上ニ利用スルコト云フノガ第一ノ目的デアリマス、一昨年以來、京城以北義州ニ向テ軍事ノ必要ヨリ鐵道ヲ建設イタシマシタ、是モ大體ノ工事ヲ終リマシテ今日義州竝ニ京城間ノ運輸ヲ不十分ナガラ開始ヲ致シテ居リマス、次第デ、ソレニ京釜鐵道ヲ集メマシテ此縱貫鐵道ヲ同一ノ經營ノ下ニ置キマシテ韓國ノ經營ノ爲ニ資シマスル、又一方ニ韓國ヲ貫キマシテ滿洲ニ向テノ我ガ利益ノ發達ノ利用ニモナリマス、又モウ一ツニハ他日有事ノ際ニハ海路ノ顧慮ノ少ナク、滿韓ノ地ニ日本ノ交通ヲ確カニシマス云フ爲ニハ之ヲ統一シマシテ、軍事ノ目的ノ爲ニモ平素ヨリ遺算ノ無キヲ必要トシマス、是等ノ點カラ之ヲ買收シマス考デアリマス、之ヲ買收シマスニ付テハ、京釜鐵道ヲ買收シマスニ付テノ費用ト云フモノハ、是ハ大藏大臣ノ主管デゴザイマス、自分ハ委シク承知イタシマセヌカ、御承知ノ如ク此鐵道ハ成立ツ際ニ於キマシテ隨分政府ガ厚キ扱ヒヲシマシタ、是等ノ點ヲ計算上デ見マスト買收シタ方ガ利益ニナル、大凡十萬圓バカリ政府ノ利益ニナル計算デアット思ヒマス、サウ云フ次第デアリマスカラ成ルベク速ニ之ガ統一ヲ圖ツタガ國家ノ利益ナリト考ヘマス

○子爵曾我祐準君 大體ハ陸軍大臣ノ説明デ分リマシタガ、尙ホ御尋ネ申シタコトガアリマス、ソレハ何サマ新シイ鐵道デアッテ萬端ノ設備ガ十分デアルマイカラ、之ヲ完全ニスルニハ差當リ餘ホド金ガ要リハシマセヌカト云フ問ニ對シテ、モウ一應御説明ヲ伺ヒタイ、サウシテ尙ホ買收ノ金高ヲ承リタウゴザイマス、ソレト尙一ツ附加ヘテ伺ヒマスノハ、是ハ韓國ノ幹線鐵道デアリマスガ、二三ノ枝ガ、……二三ニモ限リマスマイガ横、即チ枝ノ線ノ必要ガアラウト思ヒマスガ、ソレハ政府デハ如何ニ御覽ニナツテ居ルカ、二十哩トカ三十哩トカ云フ枝ノ線ヲ造ルト云フヤウナ御見込ガアリマスガ、其御見込ガアルナラバ、ソレハドコデアルカ、ソレニ對スル金ハドレダケデアルカ、要スルニ政府ガ京釜鐵道ヲ我物ニシテ十分ニ用テ足サセルニハドノ位ノ金ガ要ルカ、伺ヒタイ

○國務大臣(寺內正毅君) 將來、京釜鐵道ヲ買收シテ之ヲ改良シマスコトハ無論圖ラナケレバナラヌコトト思ヒマスガ、今日ノ所デハ停車場ヲ幾ラ殖ヤス、如何ニ改善スルカト云フコトニ付テハ政府ノ手許ニハ調査シタモノガ出テ居リマセヌ、是ハ多少修正スルコトガアラウト思ヒマスガ、此事ハ後ノ詮議ニシテ宜カラウト思ヒマス、今日ハ先ヅ統一スルト云フコトニ付テ法案ヲ提出シタ次第デアリマス、現今ノ所ニ於キマシテハ支線トシマスモノハ、軍事ノ點カラ考ヘテ昨年ノ春ヨリ著手ヲシテ今日ハ落成ヲシテ運輸モ開通シテ居リマス、即チ鎮海灣ノ中ノ馬山浦カラ洛東江ト云フ川ガアル、其川ノ岸デ三浪津ト云フ所ニ向テ一ツノ支線ヲ建築シマシタ、是ハ即チ京釜鐵道ノ……三浪津ノ所デ京釜鐵道ト合シテ居リマス、其外義州京城間ノ鐵道ヲ建築シマス時ニ多少ノ支線ヲ建築シマシテ、是ハ專ラ本線ヲ建築シマスニ付テノ材料其外ヲ揚ゲマス爲ニ造リマシタ、將來ノ運輸交通ヲ圖ツテ造ツタノデアリマセヌ、其外尙ホ京城カラ元山ニ向テノ鐵道ヲ敷設スルト云フヤウナコトハ軍事ノ點カラモ希望ヲ有ツテ居リマスガ、是モマダ著手ヲシテ居リマセヌ、即チ政府ノ手許ニハ經畫トシテモマダ出テ居リマセヌ、將來ハ必ズ斯ウ云フモノニ向テ、朝鮮ノ發展ノタメ、或ハ軍事ノ必要カラ多少ノ支線ヲ造ラネバナラヌト云フコトハ出デ參リマセウガ、是ハ他日ノ經畫ニ讓ツテ居リマス

○子爵曾我祐準君 此際鐵道買收ハ時機ニ非ズト云フ說ヲ取ツテ居リマスル、ソレ故ニ固ヨリ此案ニ付キマシテモ反對デゴザイマス、ソレカラシテ此京釜鐵道ノ出來マス時ニ私ハ非常ニ反對ノ意見ヲ述ベタコトガアリマス、元ト是ハ全ク商賣即チ利益ガ十分アルト云フ説明デ、之ヲ許可シ之ヲ補給スルト云フコトニナリマシタガ、私ハ其時分利益ハ無イト云フコトヲ斷言シテ置イタ、ソレカラ其際ニ金モ無イニ斯ウ云フコトヲシテ、詰リ會社ハ買ウテ呉レト云フコトヲ云フヤウニナルハ必然デアル、詰リハ外資ヲ輸入スルチヤナイ外資ヲ輸出スルト云フコトヲ言ウタコトガアリマシタ、詰リ借錢ヲ以テ向ウ借錢ノ金ヲ出スノデ、今日ハ即チ其結果ハ外資輸出ニナツテ來タ、此點ハ誠ニ自分ガ見タ通りト考ヘル、其時分ニ申シタコトモアリマス、私ハ商賣ノ鐵道ナレバ支那本地ハ掛ケテ經濟ニナルヤウナ盛ニ追ミ商賣ヲ開ク爲ノ鐵道ヲ支那内地ヘ架ケタラバ宜カラウト云フ考ヲ言ッタ覺モモゴザイマス、ソレデ固ヨリ此或人ニ於テハ此日露ノ戰爭マダ先キノ先キマデ豫期サレテ御主張ナサレタ方モアルカハ知レマセヌケレドモ、此鐵道ハ遂ニ隣國ト面倒ナ交涉ヲ開ク種子ニナル、戰サノ爲ニ幾分益ヲシマシタラウカナレドモ我ハ計ヲ誤ラヌ積リテシテ其通りニナツタ、戰サノ爲ニ幾分益ヲシマシタラウカナレドモ我ハ計ヲ誤ラヌ積リテ

アル、ツコデ今日ハ内地ノ鐵道モ同ジコト、最早戰サモ濟ンダ所デ、俄ニ之ヲ買上ゲテ整理セヌナラヌト云フ程ノ時機デハ無イ、殊ニ昨年以來非常ナ借債ヲモシテ居ル際デアリマス、來年ノ豫算ハドウナルカ分ラヌト云フ程ノモノデアリマスカラ、是モ贊成ハ出來マセヌ、一言之ヲ申シテ置キマス

○男爵伊達宗敦君 モウ是ハ唯今討論ニ移リテ居リマスルカ、意見ヲ述ベテモ宜シウゴザイマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 述ベラレテ宜シウゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ此京釜鐵道ニハ贊成ヲ致シマス、昨日鐵道國有ニハ絶對的ト申シマスガ、其際ハ少シ言葉ガ、今考ヘルト落チテ居ッタヤウニ思ヒマスルカラ、無論私ガ申シタノハ日本帝國、島國ノ鐵道ノコトデアリマシテ、京釜鐵道ノコトハ、マルテ關係シテ居ラヌ意味デアリマシタカラ、私ノ意味ガ間違ッテ居ッタナラバ、ソレハ改メテ置キマス、ソレデ此京釜鐵道ト云フモノハ無論、韓國ニアルモノデアッデ、成ルホド今日平和ニ歸シテハ居ルケレドモ、イツ何時ドウ云フコトガ起ラヌトモ言ヘナイ、私ハ全體内地ノ鐵道國有ニ反對スル者デ、詰リ島國ダト云フ意味デ起ッタノデアリマスカラ、若シ此帝國ノ人モ歐羅巴ノ恰モ獨逸、佛蘭西ノ如キ大陸ニアルモノナラバ、是ハ一ツノ問題デラウト考ヘマス、京釜鐵道ハ内地ノモノト、マルテ違ッテ是カラ先キノ滿洲ノ經營、其他ノコトニ必要ナモノデアリマス、ソレハ後年追々國民ガ進ンデ來テ、民有ニシ得ルト云フナラバ、シテモ宜イガ、昨今ノ情況デハ進ム出來マイト思ヒマス、寧ロ借金ヲシテモ官設ニシナケレバナラヌト思ヒマス、詰リ内地ニ於ケル鐵道國有ニ正反對ナモノデ、又其正反對デ是ハ熱心ニ贊成ヲ致シマス、此段ヲ申シマス

○男爵佐野延勝君 私ハ京釜鐵道ヲ買收スルコトニ付テハ同意スル一人デゴザイマスルガ、併ナガラ矢張り實際ハ妥協ノ如クナレドモ其實表面カラ強制的ノヤウナ方式ヲ以テ買上ゲラレト云フコトハ、一ツノ此所ニ惡例ヲ作ルト、自分ハ感シマスルデアリマスルカラ、願ハクハ會社デモ其内容ヲ聽ケバ買上ゲテ欲シ、政府デモ買上ゲル、之ヲ買フノ別ニ現金ヲ買フノデモ無シ、既ニ補給利子ノ年々下付スルモノモアルカラ、彼是相通算スレバ遠キ將來ハ知ラズ、刻下ノ所デハ左ノミヒドイ損ト云フモノハ無イヤウニ考ヘラレマスルデ、ドウカ願ハクハ政府ハ京釜鐵道ハ妥協ノ式ヲ以テ買上ゲラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵曾我祐準君 是ハ唯今第一讀會ノ場合デゴザイマセウカ

○委員長(侯爵黑田長成君) 是ハ諸君ニ御相談イタシマスガ、讀會ノ順序ヲ經ズシテ議シタイト思ヒマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○子爵曾我祐準君 此所ニチヨット氣付キマシタコトガゴザイマス、今ノ鐵道國有法ノ第九條ニハ、原案ハ審查委員ノ所ヲ改メラレマシテ「不服アルトキハ會社ハ主務大臣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、此所ニモ原案ハ同様な文章ガアリマス、鐵道國有ノ方が斯ク改メラレマスルト、ドウシテモ京釜鐵道買收法デモ斯ク改メラレヌトナラヌヤウニ思ヒマス、實際ヲ申セバ訴願ト云フモノハ主務大臣ニ持ッテ行クダケデ、幾ラモ權利ハ實際伸ビマスマイケレドモ、兎モ角モ幾ラカ此方が權利ヲ重シタト云フコトニナリマスカラ、其論ヲ行ケバ此所デモ同様な筆法デ、同様な文章ヲ入レナクテハナラヌヤウニ思ヒマスガ、

併シ實際ニ鑑ミテ見マス、京釜鐵道ノ方ハ總裁ト申シマシテモ官制ニナッテ居リマスカラ、其必要ハアルマイカト思フ、本員ハ前キニ議セラレタル鐵道國有法同様此所ニ入レタイト申スノデアリマセヌガ、是ダケノ區別ガアルカラ、是ニハ特別ノ修正ヲシナクテモ宜イダラウト本員ハ思ヒマスガ、併シ又御異議ガ有ル方ガアレバ承リマスガ、唯此所ハ忘レタル如クニシテ過ギルデハナイ、茲ニソレダケノ趣意ガ有ッテ加ヘナイト云フコトヲ明ニシテ置ク方が都合ガ好イト思ヒマスカラ、一言申上ゲテ置キマス

○國務大臣(寺內正毅君) 唯今曾我子爵ノ御注意ガゴザイマシタガ、私ハ是ハ遞信省ノ所管ノ方カラ申上ゲルノガ至當デアルカモ知レマセヌガ、聊カ軍事ノ關係ガアリマスカラ、私カラ申上ゲマス、此京釜鐵道ハ御承知ノ通り買收ヲシマシテ國家ノ用ニ立テルト云フコトニシナケレバ殆ド……會社ハ其方ヲ希望シテ居ルト云フ次第デアリマスカラ、唯今ノヤウナ御注意ノ箇條ヲ入レナクテモ、其邊ノ所ハ餘リ不都合ハアルマイト思ヒマス、殊ニ是ハ衆議院モ此儘デ通ッテ居ルノデアリマスカラ、願ハクハ其儘デ御置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵堀田正義君 本員ハ曾我君ノ說ニ贊成デ、是ハ總裁ト云フ者が既ニ會社ノ社長トハ違ッテ官選ニナッテ居ルカラ、訴願ノ途ハ別ニ付ケナクとも宜イト思ヒマス、其理由ヲ以テ訴願ノ途ヲ付ケルニ及バヌダラウト云フ說ニ贊成イタシマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 他ニ御發議ガゴザイマセヌバ採決ヲ致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵黑田長成君) 原案ニ贊成ノ諸君ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス、ソレナラバ是デ京釜鐵道買收法案ハ可決ニナリマシタ、茲ニ於テ散會イタシマス

午後二時二十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵黑田 長成君

委員

伯爵正親町實正君 伯爵德川 達孝君 子爵谷 干城君

子爵曾我 祐準君 子爵岡部 長職君 子爵堀田 正義君

子爵牧野 志篤君 男爵松平 正直君 男爵小澤 武雄君

平山 成信君 男爵有地品之允君 男爵伊達 宗敦君

小松原英太郎君 男爵野田 裕通君 山川健次郎君

男爵佐野 延勝君 男爵紀 俊秀君 南郷 茂光君

古市 公威君 藤田 四郎君 武井 守正君

磯邊 包義君 桑田 熊藏君 下郷 傳平君

國務大臣

陸軍大臣 寺內 正毅君 農商務大臣 松岡 康毅君

遞信大臣 山縣伊三郎君

政府委員

大藏省理財局長 水町袈裟六君
大藏省主計局長 荒井賢太郎君
司法省民刑局長 平沼騏一郎君
逓信次官 仲小路 廉君
鐵道作業局長官 平井晴二郎君
逓信省鐵道局長 山之内 一次君

貴族院鐵道國有法案外一件特別委員會議事速記録正誤

第三號	頁	段	行	誤	正
三六	上	八	此節	此世紀	
第四號	四六	上	二九	差上ゲル	謝シ上ゲル
第五號	五五	上	一五	持タシタ	持タシタイ
五五	下	一六	號令	恒例	正
五九	上	一一	持タシタ	持タシタイ	

明治三十九年三月二十六日印刷

明治三十九年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局